

断酒 みどりの友



創立35周年記念大会

発行所 呉みどり断酒会
事務局
呉市押込5-12-25
渡部 憲方
郵便番号 737-0915
電話 33-5571
発行人 渡部 憲
(編集代表)
印刷 松広印刷機



苦楽を共にできる
友がいる!!

会長 渡部 憲

お蔭様で創立35周年を迎える事ができました。昭和49年、呉の街から今では懐かしい路面電車が姿を消し、ネオン街からは「星影のワルツ」が流れていました。

私は勿論、会員のほとんどが酒に酔い狂っておりまして。長尾病院院内断酒会として誕生した「呉みどり断酒会」を、多くの先達の決死の努力で守り育てて頂きました。

私事、この度若輩ながら須田前会長の後を継いで会長を務めさせて頂く事になりました。その責任の重さを痛感しています。毎朝の迎え酒、航海中、訓練中の艦内での飲酒。とうとう船を降ろされ、基地の門番に立ちながらの飲酒。三、四回もの減給、停職処分。妻を苦しめたサラ金地獄…。そんな私が、奇跡的にも救われたのが、「呉みどり断酒会」でした。

昨年夏、54才で無事海上自衛隊

を定年退職する事ができました。もし、この断酒会との出会いがなかったら…。退職祝い(?)に息子が抱かせてくれた孫の可愛い顔も見事はなかったかも。

それを思う時、この度の重責にうろたえてばかりはいられません。すこしでもお世話になった皆様のお役に立てば、いや、そうしなければいけない様な気がします。

酒を止め続ける事は、決して楽しい事でもラクな事でもありませんが、少なくとも、この苦勞を分かち合うために通い続ける「例会」が、苦痛のタネになるようではない。

苦楽を共にできる友がいる!!
そんな明るいムードの断酒会づくりを……と願いながら努力してまわりたいと考えております。
何卒よろしくお願い致します。

創立35周年記念大会

2月10日(日) 広公民館大ホールに於て、御来賓、朋友断酒会からの多数の祝福を受けて、当会の創立35周年記念大会を盛大に挙行する事が出来た。



やろう!! やろう!! やろう!!

体験発表は本人の立場から西村好登さん、単身者の立場で松田英二さん、また、家族の立場から小池カスミさんが行なった。

平素の例会では味わえない共感と感動を受けた発表であった。

また、記念講演は呉みどりケ丘病院院長長尾澄雄先生に「呉みどり断酒会と共に歩ませてもらった35年」という演題でご講演いただいた。酒のために「生きる義務」、社会人としての果たすべき義務も放棄してしまった私達。そんな酒害からの克服の貴重なアドバイスをいただいた。

「ありがとうございます。」と会場出口に並んで見送る会員、家族。「お世話になりました。」

「又、逢いましょう!!」と、握手をしてくれる朋友。その笑顔に、大会が無事終わってよかった安堵感と、「断酒幸福」そのものを見たような気がした。

体験談特集



松田英二 (本人)

呉みどり断酒会、創立三十五周年おめでとうございます。

酒との出会いは17歳の時、東京の叔父の所に行つて飲んだビールが初めてでした。本格的に飲み出したのは高校を出て、今の会社に入ってからです。

飲むとほろ酔い気分になり楽しい酒でした。その酒が休日には昼間から飲むように段々と変わって行きました。自分の金だけでは足りず借りて飲んで、返済日が近くなると、どうしたら良いか、イライラする日を過ごし仕方なく家を飛び出します。

乗って行つた車も途中で売り飛ばし、その金も後先考えずに使い果たし、どうする事も出来なくて夜の仕事に就きました。仕事に入つてからは、うるさく言う者はいな

いし、金が入れば飲み歩いて、その間、親がどれだけ心配しているか考えた事ありませんでした。

そんな暮らしが続いたある日、警察に保護され、それというのも親から捜索願いが出されていたので、家にも連絡が入り両親と妹が迎えに来てくれて一緒に帰りました。帰つても真面目になるどころか、酒量が増え飲み代がなくなると、サラ金に手を出して、後は親がなんとかしてくるだろうと横着な気持ちで何年もの間、同じ事を繰り返していました。その度に家出、その時家から金を持ち出して、親達がどれだけ困るか、考える事もなかったです。

それに、母が病気で入院し、手術をした時もそんな事とは知らず好き勝手な事をしていました。その頃の生活といえますと、朝から晩まで酒びたりの生活で、その為に店の金にも手を付け、又酔つて来た客の財布から金を抜き取つた

りしていました。飲む為とは言え随分ひどい事をしました。

その頃から朝酒をする様になっていました。

昭和59年復職させて貰い、出勤する時には、必ず酒を飲んで出かけるようになり、仕事中でも気に入らない事があれば早退して飲む。その金は一人暮らしの祖母の所に行つて、飲み代をせびっていました。



断酒継続・一年表彰

その事が親にバレ、言い合いになり、酔った勢いもあって、暴言を吐き、それだけではおさまらず、自分の部屋に入るなり窓ガラスを

割ったり、タンスの引き出しは投げるし、部屋の中は無茶苦茶になりました。

翌朝、部屋を片付ける母の姿を見て申し訳ない事をしたという気持ちになりましたが、素直になれません。それから酒を飲んでの事件を起こした事が度々ありました。飲酒運転で事故を起こし、その後始末は父親に押しつけて、自分は懲りもせず酒びたりの生活を続けておりました。

そんな或る日、親と相談して、呉みどりヶ丘病院に一度行ってみようと言う事になり、行ったら即入院となりました。

半年間入院させて頂き、元気な体にして貰い、酒の怖さも教えて頂きました。

退院してすぐ、断酒会に入会させて貰い例会出席はしていたのですが、何回かの失敗もしています。その度に先輩の方に励まして頂き、皆様に御指導を頂きながら頑張ってきたのですが……

あれは、平成9年頃だったと思います。会社の社長が怪我をして入院となり、「仕事の現場を頼む」

と言われ、仕事が優先となつていった様に思います。



よき先輩に囲まれて……。

社長が退院をして来ても、「あの時は大丈夫だったじゃないか……」と間違つた考えになつていった様に思います。

それから仕事と言っては、例會を欠席していました。

その年の10月だったと思います。出張で「相生に行つてくれ……」と言われ、10人位連れて行つた訳ですが、初日の仕事が終わって、部屋で酒盛りしている所に、自分も仲間に入り、一緒に飲んでいま

した。

二週間で、仕事も終り呉に帰つても周りの目が気になるし、そんな事で会から段々と離れていった様に思います。今考えると飲むべくして飲んだように思います。

断酒会から離れると、隠れて飲むようになり、親は知らないと思つていましたが、気付いていたようです。親に分かつてからは、酒量が一ぺんに増えて、会社の帰りには自動販売機で、缶ビールを買い運転をしながら帰り、帰って晩酌をしていました。

家で飲んでいる時はまだしも、飲みに出る様になって、自分の車で飲みに行き、その時の親の気持ちは心配で仕方なかったようです。又、会社の同僚と飲みに行った時も最初は良かったけど、時間が過ぎると、眼はすわり、あわや、喧嘩になりかけた事を後から聞かされました。

今回も飲んで親には、随分と迷惑、それ以上の事をかけています。そして、家には居ずらいし、親に家を出るからと、お金を貰い出しましたが、金を手にすると、すぐ

広島、呉と飲みに行き、飲み歩いている所を親に見付けられ、家に連れて帰られて、「もう一度入院してやり直したら…」と言われ、自分も納得したのですが、病院には行けませんでした。

親に頼んで、田中相談役さんの所に電話して貰い、すぐ来てくださり、気持良く病院につれて行って下さいました。

再入院して院長先生には、体を治して頂き、酒の本当の怖さを教えて頂きました。

三ヶ月たらずで退院させて頂き、呉みどり断酒会に再入会をさせて頂いて例会出席をさせて頂く中で色々な事がありますが、多くの先輩、皆様の支えを頂き、引っぱって頂いた御蔭で、一年を迎える事が出来ました。

これからも、断酒会から離れる事なく、一日断酒、例会出席を鉄則で頑張ってまいります。

厳しい御指導の程よろしくお願い申し上げます。

本日はありがとうございます。



小池カスミ
(家族)

本日は呉みどり断酒会創立35周年記念大会、おめでとうございます。この佳き日に体験発表させて頂きます事を、心より感謝申し上げます。

私達家族は、主人に断酒してもらっているお蔭で人並みの生活が出来ています。

これもひとえに院長先生を初め断酒会の皆様方のお蔭でございます。辛かった時の事を今思い出しますとゾーとします。私達は九州の炭坑で結婚して早や40年が過ぎました。二人の子供にも恵まれ、ささやかに暮らして居ましたが炭坑が閉山と成り、両親を頼り昭和40年に呉に来ました。

初めの一年くらいは親と同居して居ましたが、私の父も大酒飲みで、主人と毎日晩酌をして居ました。酔いが回ると決まって口論となります。母はなれたもので、「また始まった。もう寝る寝ろ」

と言って二人の間に入って行きます。それから間もなく別居して、子供を母に子守をたのみ、私も主人と共に働く事にしました。

生活が少し楽に成ると酒量が増えた様に思います。この頃からと思います。主人の暴力が始まりました。少しでも口ごたえをしよう物ならお膳を引つ繰り返し手当たりしだい物を投げ、なくなると私に当たって来ます。殴られたり蹴られたりしてひと暴れすると主人は寝てしまいます。子供達は脅えて隅で泣いて居ました。朝に私の顔を見て気まずそうにして居ます。顔面青地に成って居るからです。

この様な事はさいさいでした。そんな私の姿を見て父は「別れる」とよく言って居ました。それでも別れる事も出来ず寝ている主人の首に何度手を掛けた事でしょう。

いっそ、私さえいなくなったらこの様な辛い思いをしなくてもいいんだと思ひ一人の子供と線路に立った事も有ります。子供心に何かを感じたのでしょうか。上の子が「お父ちゃんが待ってるよ、早く家に帰ろう」と言う声に我に返り、私

さえ我慢すればいいんだと思ひ、同じ事を繰り返しながら何年か過ぎました。

子供も成長して長女は社会人となり、長男は高校生となってから、何かと反発をしてとうとう二年の時中退してしまいました。それからと言うもの主人の酒量はますます増え、酔っては「殺してやる」と言って包丁を持って追っ掛けます。ますます悪くなるばかりです。



それでも免許を取ってバイクで暴走して迷惑を掛けて居ました。

バイクに飽きると今度は車です。続けざまに三台もメチャメチャに

してしまいます。その頃の私は何もする気になれず、ただ呆然として居た様に思います。これ以上悪くはならないだろうとヤケに成って居ました。

いつの頃となく息子もいい方向に自動車修理工に成って給料も家に入れてくれる様に成りました。ほっとして居る所に娘が嫁に行ったので淋しく成ったのでしよう、又酒量が増えた様です。息つくひまもなく一年後には息子の結婚です。少し貯えた物も失く成り気持ちも入れ替えて頑張る事になりました。

まもなく孫も一人二人と産まれ、アパートでは狭く成ったので63年に広に引越して、間もなく朝酒が始まり、それからは昼々夜となく仕事でも飲みどおしです。「仕事中は飲まないで」と言っても聞き入れてもらえません。

何時もふらふらして危なかくしく見て居られないんです。腹が立って来て、「いいかげんにしなさい」と大声を出します。そうすると仕事にはならず時間をかけてやっとの思いで会社にたどり着きます。



お父さん ガンバッテ!!

社長や同僚の皆に主人の酔った姿を見られたくないので、急いで家に帰りますが、帰りの車の中でも上司や同僚の悪口を言っていて私に当たります。初めのうちは黙って聞いて居ますが、段々と腹が立って気持ちの持って行き場が有りません。家に着いてからは「あんなな

んか死んでしまえ、死んでくれればいい」と口汚なくののしって居ました。毎晩の喧嘩ですので息子夫婦も呆れかえり遠のいて行った様です。日々に弱っていく主人を見て居ると不安になります。

もうこれ以上子供には心配掛け

たく有りません。他に相談する人もなく、これから先どうしたらいいんだろうか、何も考えず、ボーとして居ました。主人の様子を見て居た社長に「悪く成るばかりだから入院させる様に」と言ってもらい、平成三年二月に呉みどりヶ丘病院に入院させて頂きました。今まで会社に迷惑をかけて来ましたが、少しでも取り戻さなくては成りませんので、私は同僚の皆さんの手助けで仕事と面会に頑張る事が出来ました。あれだけポロボロに成った身体を院長先生になおして頂き、退院後呉みどり断酒会に導いて頂きました。

何もわからない私達に会の皆様はやさしく声をかけ、手をさしのべて下さいました。断酒してわずかな月日ですが今日までこられた事をうれしく思います。

絶対に一人では断酒出来ませんので、例会出席を大切にしていって皆様の後についてまいります。

この度は主人が十年表彰をいただき有難とうございました。

これからもどうぞよろしくお願ひ致します。



西村好登
(本人)

呉みどり断酒会創立35周年おめでとうございます。

私は昭和二十二年八月一日男兄弟四人の次男として生を受けました。

生まれた所は呉港の進駐軍があった所です。小さい頃は聞き分けの良い優しい子だったそうです。そして義務教育が終り、夜は電機科の定時制高校、昼は電気工事見習いとして社会に出ました。

仕事の為とすぐ車の免許と二輪を手に入れました。それが迷惑をかける始まりでした。高校二年の時に職場の先輩にスタンドへつれて行ってもらいました。

昭和三十七・八年頃、中道は賑わっていて飲み屋街もいつも人があふれていました。そんな雰囲気でも飲んだ酒は飲みやすくて頭の中がほんわりしてすぐにはまりました。それからというものパチンコ、焼き鳥屋、スタンドバー、オール

ナイト映画と遊びが始まり飲酒運転はあたり前、罪とは思っていませんでした。二輪での交通違反、事故は数えきれない程やっています。その頃のおふくろは、飲酒運転と私の借金に胸を痛めていたと思います。

とにかく自分さえよければ良かった。そんな生活が身に付くと学校も仕事もつまらなくなり三年の終りに、学校も会社もやめて水商売の道を選び、コック見習いとして働くようになりました。遊びの延長、将来の事など考えず、その日々を送っていました。

この時期は色んな事があり、やけ酒も覚えました。それからしばらくして一本立ちである店に調理士協会からまわされ、そんな時、現在の家内と知り合いました。その時の彼女は私の酒好きと過去は知りませんでした。その頃は日常生活にさしつかえる程飲んでいせんが飲酒運転はやめる気はなく、ちよくちよく捕まっていました。結婚して子供一人恵まれ、子供の為、二十七歳の時コックをやめて親父の勤めている所へお世話に

なり、船舶内燃機関の修繕及び据付けの見習いとして働くようになりました。しかし見習い一年生というのが面白くなく、酒の量も増えてきました。

そんな頃、飲酒運転をやめれない私だから二十八・九才の時、知り合いの社長の車でガードレールにつつまみケガをさせてしまっ



夫婦ゲンカはあるけれど……。

すごい悔みにさい悩まされて、免許取り消しでとことん落ち込みました。それで酒量があがり仕事も手につかず、仕事でも飲む様になりました。会社も仕事にひびくの

で再々の注意を受けておりました。この時は別の会社で働いていました。

とにかく酒で解決しようと飲んでいたのですが、どうにもこうにもならないのでやせがまんして酒をきったところ、不眠が続き、

「ボー」としていたら幻聴が聞こえる様になりました。それが幻聴と分らず床の下から、外から話し声や題目が聞こえるので、それはくたびれました。でも誰かがイタズラでもしていると思っていました。

その内不眠がひどくなり頭がおかしくなり幻覚が少しづつ出てきて、それもわからないので女房には黙っていました。

とうとう頭が混乱してくる様になり人が出刃包丁を持って殺しに来るので大暴れました。その前後は思い出せません。引越する程たぶん何もかもこわれたと思います。気を失って、気が付くと、兄とおふくろが、あっちこっちの病院へつれていった事をボンヤリと思ひ出します。

昭和五十二年、三十才で呉みどりヶ丘病院の初入院となりました。

三病の鉄格子を見た時にはショックでした。それは自分がアルコール依存症とは思ってなく、とうとう気狂いにされたと思ひ、その事ばかり気にし断酒の事は頭にはありませんでした。近所の断酒会の人のお世話になり三ヶ月で退院したけれど働く気もせず家でブラブラして女房にメシを食べさせてもらっていました。

するとおふくろが来て又、私を再入院させました。今度は三病棟の閉鎖に長くおかれ、女房は一度も面会に来ないし、電話もなくて苦しみました。やっとの事で二病におろされた時、出口のカギが外れていたの女房の所まで逃げたら、「もうあなたの面倒はみれん」と言うので、おふくろの所まで逃げました。

しばらくして働く意欲が湧いてきて、また、最初の会社で雇っていただきました。それからの私はひとすじ、一年間断酒、仕事に追われて日曜日返上、残業と、飲むひまなく働きました。しかし、二年目から少しづつ酒を飲むようになりしました。十七・八年は一生懸

命でした。まったくの平穩無事の十七・八年ではなかったけども、今思えば不思議です。その分、家庭と会社には迷惑かけていたと思います。



手つきはいいがジュースです。

四十七・八才頃から自分本位の考え方を職場でもする様になり、酒量があがり出し飲んだらもう、酒ぐせ悪くて、ささいな事でもすぐ腹を立てる様になり、女房にも暴力に出たと思えます。日一日と酒におぼれる様になり、内科への入退院の繰り返し、体力も気力も落ちブラックアウトもよくする様

になりました。朝起きるとよく女房が顔にアザを作っていて、ひどい時には、びんで頭をビンが割れる程たたきました。この時は自分でも後から寒気がしました。

それでも飲み続け酒が止まらなくなり、平成九年、この度第一回の保護入院です。それが気に入らず、なかなか素直になれず、退院した日から又飲んでいました。

三回目の時仕事も出来なくなり又飲んで、入退院の繰り返し、五回目の退院の時、断酒会入会とデイケア通所を条件で退院させていただきました。

デイケアは現在通所していませんが例会出席と断酒会の皆さんのおかげで止まらなかった酒がちよっと止まっています。

院長先生と病院の方々には心から感謝しております。

酒で女房、子供、おふくろに大変迷惑をかけましたが、現在仕事はしていませんが、これから迷惑かけない様に、一日断酒と例会出席でがんばります。

ありがとうございます。

創立35周年記念大会御祝儀

医療法人緑風会長尾病院

理事長長尾邦雄様 一〇、〇〇〇円

呉みどりヶ丘病院

院長 長尾澄雄様 一〇、〇〇〇円

総婦長山根文字様 一〇、〇〇〇円

事務長田代時弘様 五、〇〇〇円

看護長国貞 茂様 五、〇〇〇円

看護婦長河崎千鶴様 五、〇〇〇円

看護長 佐藤政明様 五、〇〇〇円

看護婦長坂田国代 五、〇〇〇円

元総婦長曾我吉子様 一〇、〇〇〇円

元リーダー上田隆司様 五、〇〇〇円

広島断酒ふたば会 五、〇〇〇円

中村正夫様 一〇、〇〇〇円

中田克宣様 一〇、〇〇〇円

森澤 猛様 五、〇〇〇円

福山みずほ断酒会 一〇、〇〇〇円

石川高士様 一〇、〇〇〇円

熊谷康徳様 一〇、〇〇〇円

備後断酒友の会 五、〇〇〇円

村上由美様 五、〇〇〇円

福山断酒友の会 五、〇〇〇円

芸南断酒会

山根多賀資様 一〇、〇〇〇円

山根 巖雄様 五、〇〇〇円

尾道断酒うず潮会

湯谷博子様 三、〇〇〇円

呉 宮野 積様 一〇、〇〇〇円

呉 婦人部より 五、〇〇〇円

断酒継続表彰者

(創立三十五年記念)

☆一年断酒 西尾 政治

西村 好登

水本 繁見

竹内 愿

松田 英二

☆三年断酒 上敷領 忠

小田多美子

飯畑 一徳

三王 光之

☆十年断酒 松戸 善治

小池 保男

☆十五年断酒 中田 頼子

大会シーズン到来!!

桜の季節が訪れ、全国各地から記念大会、研修会等の案内状が次々と届く。

「あんた、○○大会に行く?」「わしは、△△君に会う約束しながらけん行くよ」などと話しながら参加申込みをする光景が連日見られる。

「苦楽を共にする各地の会友に会える楽しみ。これも私達の断酒継続の大きな糧になっている。」



シーズンのトップを切ってワンナイト・セミナーに。(香園寺にて)

寄付者御芳名

(12月度)

呉みどりヶ丘病院

院長 長尾澄雄様

総婦長山根文字様

田尾義弘様

賀茂台地断酒会

高畑見心様

芸南断酒会

山根多賀資様

呉市 匿名様

松田英二様

呉市 柴崎 寛様

感謝箱 (12月分)

(1月度)

芸南断酒会様

芸南 藤川幸男様

呉市 匿名様

感謝箱 (1月分)

(2月度)

感謝箱 (2月分)

断酒継続おめでとう

〇二年 石井時一

〇三年 飯畑一徳

〇三年 三王光之

1月15日

1月6日

1月30日

六、九六〇円

六、八一四円

六、〇〇〇円

五、〇〇〇円

一〇、〇〇〇円

六、五三〇円

一〇、〇〇〇円

一一、三二三元

一〇、〇〇〇円

一〇、〇〇〇円

一〇、〇〇〇円

五、〇〇〇円

一〇、〇〇〇円

七〇、〇〇〇円

新入会員紹介

☆呉市焼山町甲七三一一七

石橋 剛

☆呉市溝路町一一一八

柴崎 寛

☆呉市広横路三一一二〇

山口和政

☆呉市広長浜四一一四四五

村本 隆

☆呉市阿賀北一一一七一五

渡辺正則

同右

北浦 明

同右

植田和雄

行事予定

5月18〜20日

第58回松村断酒学校

本山町プラチナセンター

5月26日

第32回広島断酒大会

黒瀬町文化センター

8月23〜25日

第32回山陰断酒学校

玉湯町中央公民館



ブロック例会風景

行事名	回	正会員	家族会員	賛助会員	他会員	院内会員	サポーター	合計
土曜例会	14	501	219	47	216	1,101	662	2,746
水曜例会	11	391	220		11			622
新会員の集い	3	28	14					42
ブロック例会	2	64	34					98
家族の集い	3		40					40
懇談会	3	10						10
特別院内例会	3	58	30					88
第35回酒なし忘年感謝会	1	35	19					54
第25回東予ワンナイトセミナー	1	9	1					10
創立35周年記念大会	1	40	21					61
やわらぎ断酒会35周年	1	23	16					39
県連理事研修	2	13						13
役員会	3	26						26
合計	48	1,198	614	47	227	1,101	662	3,849

12月例会動員数

平成14年度 役員名簿

呉みどり断酒会

婦 人 部 長	理 事 局 次 長 (編集担当)	事 務 局 長	事 務 局 長	副 会 長 兼 会 計 部 長	副 会 長 兼 監 事 (行事担当)	会 長	婦 人 部 相 談 役	相 談 役	相 談 役	相 談 役
渡 部 治 美	菅 田 利 男	森 山 貞 義	久 保 数 弥	大 下 忠 志	石 田 眞 一	渡 部 憲	高 路 テ ル 子	須 田 一 郎	田 中 正 直	高 路 忠 文

事務局を下記のとおり変更いたします。

〒737-0915

広島県呉市押込5丁目12-25

渡 部 憲 方

TEL(FAX) 0823-33-5571